

地域医療支援病院業務報告書

1. 概要

病院名	フリガナ	ドクリツギ ショウセイイホウジンロウト ワシャケンコウアンセ ンキコウ カンサイロウサイヒ ヨウイン
		独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院
所在地		兵庫県尼崎市稻葉荘3丁目1番69号
開設者		独立行政法人労働者健康安全機構
代表者氏名		竹原 徹郎
承認年月日		平成21年12月16日

2. 業務報告

対象期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

◇紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	紹介率80%以上	
紹介率	A/B	81.6%
※患者数は延べ人数	A : 紹介患者の数	10,981人
	B : 初診患者の数	13,455人
逆紹介率	C/B	91.7%
※患者数は延べ人数	C : 逆紹介患者の数	12,350人

◇共同利用の実績

医療機関延べ数 (うち開設者と直接関係のない医療機関延べ数)	769機関 (769機関)
共同利用病床数	5床
共同利用病床利用率	0.0%
共同利用の範囲	
共同利用施設・設備	建物の一部 (病床、会議室、カンファレンス室、診療情報管理室、図書室、医薬品情報室) 医療機器 (CT、MRI、ガンマカメラ、呼吸機能検査装置、透視装置)
登録医療機関数	
共同利用に関する規定の有無	有

◇救急医療の提供の実績

優先的に使用できる病床	30床
専用病床	30床

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者	6,046人	(3,873人)
上記以外の救急患者	2,203人	(679人)
合計	8,249人	(4,552人)

※延べ人数。括弧内は、うち入院を要した患者数

救急用又は患者輸送用自動車	2台
---------------	----

◇地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	①阪神がんカンファレンス（3回／年） 症例検討・最新治療・化学療法・放射線治療の副作用・緩和ケア（ペインクリニック含む）に係るショートレクチャー。 ②がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会（1回／年） 標準プログラムに準拠した単位型研修会（PEACE） ③がん患者地域連携のための多職種カンファレンス（3回／年）（当院主催は1回） 職種別医師・看護師・多職種会議があり、緩和ケアを中心としたがん診療に係る問題点の解決を図る。 ④感染コントロール（4回／年） 院内感染防止対策を推進することを目的とする。 ⑤がん性疼痛セミナー（1回／年） がん性疼痛についての講演会 ⑥エキスパートコースセミナー（1回／年） 在宅における高カロリー輸液の管理に関する講演会 ⑦かんこう産婦人科セミナー（1回／年） 阪神地域で産婦人科に携わる医療従事者に対する症例検討会 ⑧放射線治療セミナー（1回／年） 阪神地域で放射線治療に携わる医療従事者に対するセミナー ⑨看護連携の会（1回／年） 看護との連携について考える。	
	地域の医療従事者への研修回数	14回
研修の実績	合計研修者数（うち院外参加者）	438人 (299人)
	研修プログラムの有無	有
	研修委員会の設置の有無	有
研修体制	研修指導者数	13人
	会議室 A	165.1m ²
	会議室 B	41.6m ²
	カンファレンス室 1	136.2m ²
	カンファレンス室 2	76.3m ²
	カンファレンス室 3	23.9m ²
研修施設	がんセンター事務室内ミーティングスペース	20.0m ²

◇診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者	病院長 林 紀夫	
管理担当者	医療情報部長 伊藤 善基、医事課長 原 康雄、総務課長 島筒 美千代	
診療に関する諸記録の保管場所	診療情報管理室、電子カルテ内。但し、病院日誌は総務課、診療科目誌は看護部、処方せんは薬剤部で管理。	
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	医事課
	救急医療の提供の実績	医事課
	地域医療従事者向け研修の実績	医事課
	閲覧実績	総務課
	紹介患者等の帳簿	医事課

◇診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	病院長 林 紀夫	
閲覧担当者	総務課長 島筒 美千代	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧者別延べ件数	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	0件
	合計	0件

◇第九条の十九第一項に規定する委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回
----------	----

◇患者相談の実績

相談を行う場所	がん相談支援センター相談室、医療連携総合センター相談窓口	
主たる相談対応者	専門看護師（がん看護）、退院調整看護師、社会福祉士、社会保険労務士、事務職	
相談件数	960件	
相談の概要	1. 病気に関すること（がん相談を含む）。 ・がんやがん以外の疾患に関する症状や治療方法 ・手術やその後の経過、合併症など ・薬物の使用や術後ケア等 ・がん患者に対する看護アプローチ ・本人への対応について ・症状に対する検査案内 ・セカンドオピニオンの説明や他院でのセカンドオピニオンの受け方など ・クリニカルインディケーターの提携 2. 在宅医療に関する相談 ・退院後の訪問看護、自己ケアについて ・退院後の福祉サービスの受け方 ・緊急時の対応方法 3. 診療に関する相談 ・当院で提供できるサービス 4. 転院について ・転院先や医療機関の紹介 ・退院困難、その他理由によるかかりつけ医紹介 5. 社会保険制度について ・介護保険、生活保護受給の手続き ・特定疾患等公活申請の手続きについて	6. 医療費について ・高額医療費の現物給付制度 ・DPC制度における医療費について ・医療費控除制度 ・特別収容措置における医療費の算定について 7. 入院・外来診療、診査全般、その他のに対する苦情対応 8. 医療事故・医療安全にかかる相談 9. 合併症等に対する相談、不満について ・スタッフに対する不満、不適について 10. 施設の就労に関する相談、治療中の職場との関係性について ・月に一度尼崎市のローカルの相談員さんに来ていただき、離職防止のために相談に乗ってもらっています。 ・月に一度尼崎市保健福祉部に来ていただき、離職防止のために相談に乗ってもらっています。 ・当院の就立支援に担当する室内 10. その他 ・検診機関、地域の医療機関の場所、院内の一般的な疑問、予防医療、院内のシステムに関すること。

◇その他地域医療支援病院に求められる取組み

病院機能第三者評価	有
役割に関する情報発信	有
退院調整部門	有
地域連携クリティカルパスの策定	有

独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院